

CASIO®

P

3420P*JA**取扱説明書****3420**

このたびは、本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用前に本書の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
本書はお読みになった後も、大切に保管してください。

この時計の特長

この時計は、次の機能を備えています。

◆ワールドタイムがわかります

世界48都市の時刻を表示できます。

→ P.20

◆ストップウォッチとして使えます

1/100(0.01)秒単位で24時間まで計測
できます。

→ P.21

◆タイマーとして使えます

設定時間をカウントダウン計測し、残り時
間が0になるとタイムアップ音を鳴らして
お知らせします。

→ P.24


◆アラームを設定できます


設定した時刻・日付になると、アラーム音
を鳴らしてお知らせします。毎日鳴らす、
毎月鳴らす、など4種類のアラームが設定
できます。


→ P.27

安全上のご注意

絵表示について 本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

 **危険** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

 **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は「気をつけるべきこと」(注意)を意味しています(左の例は感電注意)。



⊘記号は「してはいけないこと」(禁止)を意味しています(左の例は分解禁止)。



●記号は「しなければならないこと」(強制)を意味しています(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)。

警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。

- 本機はダイバースウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

注意

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとしび易くなります。

⚠ 注意**かぶれについて**

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

- ① 金属・皮革に対するアレルギー
 - ② 時計の本体およびバンドの汚れ・さび・汗等
 - ③ 体調不良等
- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
 - 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
 - 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

分解しないでください

本機を分解しないでください。けがをしたり、本機が故障する原因となることがあります。





注意

ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やけがの予防のため、十分に安全が確認された場所で行ってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。

時計着脱の際に、バンドの中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬけがやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のけがやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

 **注意****ご使用にあたって**

時計本体（裏ぶたを含む）やバンドに製品保護シールが付いている場合は、ご使用になる前に必ずはがしてください。シールをはがさずにご使用になると、「時計本体やバンド」と「シール」との隙間に汚れが付着し、さびやかぶれの原因となることがあります。

オートライト作動時のご使用について

オートライト作動状態のとき、本機を腕につけて自動車などを運転すると、不用意にライトが点灯し、運転の妨げになり危険ですのおやめください。交通事故の原因となることがあります。





目次

この時計の特長	表紙裏面	時刻を合わせる	16
安全上のご注意	1	時差の設定	16
本書について	8	時刻、日付の調整	18
本文中の記号について	8	ワールドタイム	20
各部の名称について	8	他のタイムゾーンの時刻を見る	20
液晶表示について	9	サマータイム (DST) の設定	20
ご使用になる前に	10	ストップウォッチ	21
時刻と日付の設定	10	ストップウォッチモードを選ぶ	21
モードの種類と切り替え	12	計測する	21
各モードでできること	12	オートスタート機能	22
モードの切り替え	13	タイマー	24
共通機能	14	設定の詳細	24
時刻を見る	15	タイマーモードを選ぶ	24
		計測時間を設定する	25
		計測する	26
		タイムアップ音を止める	26

アラーム・時報	27	ご使用上の注意	38
アラームモードを選ぶ	27	お手入れについて	42
アラーム時刻を設定する	27	電池交換について	43
アラーム・時報の ON/OFF	29	金属バンドの駒詰めについて	43
アラーム音を止める	29	UTC（協定世界時）とタイムゾーン	44
アラーム音を確認する（モニターアラーム）	29	都市コード一覧表	45
ライト	30		
ボタンを押して点灯させる	30		
自動的に点灯させる（オートライト）	30		
点灯時間を切り替える	32		
各種の設定	33		
ボタン操作音の ON/OFF	33		
報音フラッシュ機能の ON/OFF	33		
主なマークとインジケーター	34		
製品仕様	35		


本書について

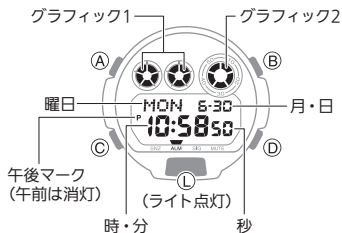
本文中の記号について

-  **注意**：誤った使用方法によるけがや故障を防ぐための情報を記載しています。
-  **重要**：正しく使用するために必要な情報を記載しています。
-  **参考**：各機能や操作の説明に関する補足情報を記載しています。
-  **：** 詳細の説明や関連する項目などの参照ページを案内しています。

各部の名称について

この時計の操作は、**(A) ~ (D)**、および **(L)** ボタンを使用します。また、各表示部は以下を表します。

 モードの種類と切り替え…P.12



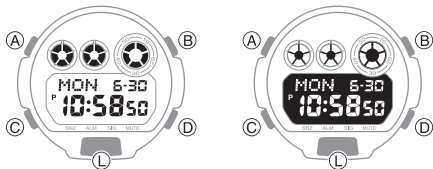
参考

- この取扱説明書では各ボタンの操作を説明するために、図に記載した文字を使用しています。
- この取扱説明書に記載しているイラストは、視認性を考慮して実際のものとは異なる描写をしているものがあります。ご了承ください。

液晶表示について

製品によって、液晶表示のタイプが異なります。本書に記載しているイラストは、視認性を考慮して「白地に黒」で描写しております。


- 液晶表示のタイプは製品によって決まっているため、1つの製品でタイプを切り替えることはできません。



ご使用になる前に

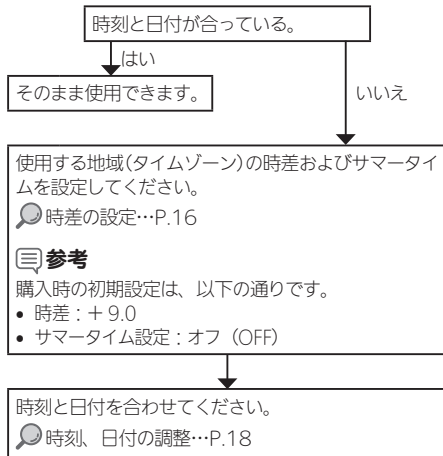
この時計をお使いになるには、「時刻と日付の設定」が必要です。

時刻と日付の表示を合わせたら、「モードの種類と切り替え」と操作したい機能の説明をお読みください。

 モードの種類と切り替え…P.12


時刻と日付の設定

時刻と日付の表示を確認して、チャートに従ってください。



 **重要**

- この時計を主に日本以外の国で使用する場合は、使用するタイムゾーンを確認して時差およびサマータイム（DST）を設定してください。

 UTC（協定世界時）とタイムゾーン…P.44

モードの種類と切り替え

この時計には、機能に応じた 5 種類のモードがあります。各モードの機能とモード切り替え方法は以下の通りです。また、各モードに共通している機能や操作は、以下を参照してください。

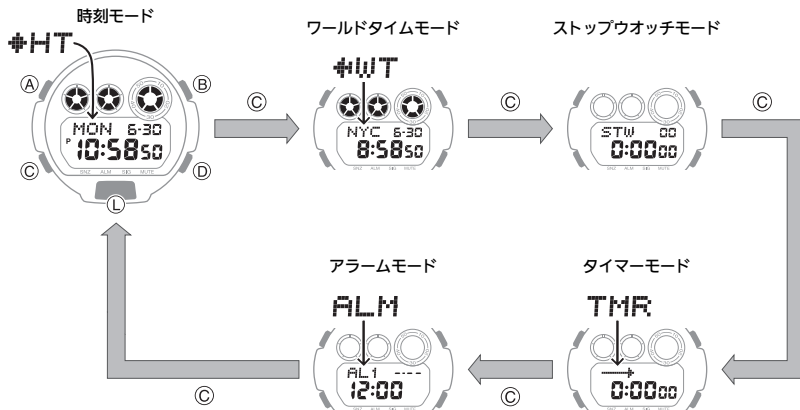
 共通機能…P.14

各モードでできること

モード	機能	参照ページ
時刻	<ul style="list-style-type: none">主に使用する場所の時刻表示12/24 時間制切り替え時刻、日付、サマータイムの設定	P.15 P.16
ワールドタイム	世界 48 都市（29 タイムゾーン）の時刻を表示	P.20
ストップウォッチ	<ul style="list-style-type: none">経過時間の計測スプリットタイムの計測オートスタート機能	P.21
タイマー	<ul style="list-style-type: none">タイマーの設定、計測タイマー方法の設定予告音の設定	P.24
アラーム	<ul style="list-style-type: none">アラーム時刻・日付の設定時報の ON/OFF 設定	P.27

モードの切り替え

◎ ボタンを押すごとに、以下のモードに切り替わります。



参考

- モードを切り替えるごとに音が鳴ります。時刻モードに戻るときは、高い音が鳴ります。

🔍 ボタン操作音の ON/OFF…P.33

共通機能

以下の機能と操作は各モードに共通しています。

◆自動復帰機能



時刻などを設定しているとき（表示が点滅中）に何も操作せず 2～3 分間経過するとセット状態が解除されます。

◆早送り

各モードで設定をするとき、**Ⓑ** および **Ⓓ** ボタンを押して設定内容を変更します。**Ⓑ** および **Ⓓ** ボタンを押し続けると、設定値を早送りできます。

◆グラフィック

現在時刻あるいは計測値の秒に連動します。

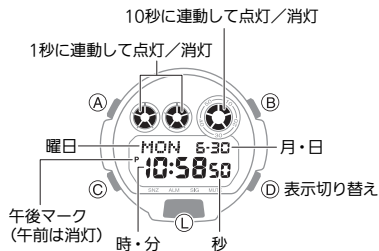
 (グラフィック 1)	1 秒単位で点灯／消灯
 (グラフィック 2)	時刻モード、ワールドタイムモードでは 10 秒単位で点灯／消灯 ストップウォッチモード、タイマーモードでは 計測中に点灯／消灯

時刻を見る

現在の時刻と日付を知ることができます。ⓓ ボタンを押すごとに、12 時間制表示と 24 時間制表示が切り替わります。

参考

- 12 時間制表示に切り替えると、正午から午後 11 : 59 までは P (午後) マークを表示します。



表示切り替え



時刻を合わせる


現在の時刻と日付を修正することができます。

時差の設定

都市コード一覧表にある時差の中から、この時計を主に使用する場所と同じ時差を設定します。

また、使用する国や地域に応じてスタンダードタイムまたはサマータイム（DST）を設定します。

正しい時差を設定しないと、ワールドタイムモードの時刻を正しく表示しない原因になります。

 都市コード一覧表…P.45

✓重要

- この時計を主に日本で使用する場合は、時差を「+ 9.0」、サマータイムを「OFF」に設定します。

☰参考

- サマータイムとは、DST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻（スタンダードタイム）から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの実施期間や実施地域は、国によって異なります。また、サマータイム制度を採用していない国や地域もあります。

◆サマータイム、時差を設定する

- ① 時刻モードのとき、**(A)** ボタンを1秒以上押し続けてセット状態に切り替えます。

秒が点滅します。



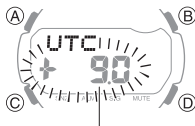
- ② **(C)** ボタンを押して、サマータイム（DST）の設定状態に切り替えます。

3 ① ボタンを押して、サマータイム (DST) の設定を選択します。

- ① ボタンを押すごとに、[ON] と [OFF] が切り替わります。
- サマータイムを [ON] にすると、時差の設定が1時間加算されます。



4 ② ボタンを押して、時差設定状態に切り替えます。



UTCからの時差

5 ③ または ④ ボタンを押して、時差を選択します。

- 設定したい時差を表示するまで、③ または ④ ボタンを押します。
- ③ または ④ ボタンを押し続けると早送りできます。

6 ⑤ ボタンを押して、設定を終了します。

時刻、日付の調整

時刻と日付を合わせます。

✓重要

- 時刻と日付を合わせる前に、必ず時差を設定してください。

🔍 サマータイム、時差を設定する…P.16

◆時刻と日付の合わせかた

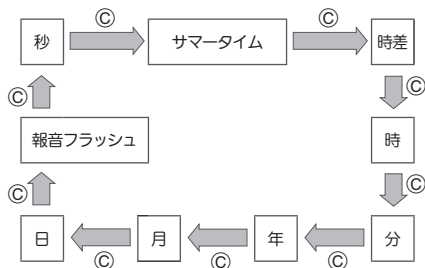
① 時刻モードのとき、**Ⓐ** ボタンを1秒以上押し続けてセット状態に切り替えます。

② 時報に合わせて **Ⓓ** ボタンを押します。

- 秒が「00秒」からスタートします。
- 秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」になります。

③ **Ⓒ** ボタンを押して、設定する項目を選択します。

Ⓒ ボタンを押すごとに以下の順序で設定項目が切り替わります。



- 4 ③ または ④ ボタンを押して、以下の設定を変更します。

画面	変更項目	操作
50	秒を「00」にリセット • 30～59秒のときは 1分繰り上がります	④ ボタンを 押す
OFF	サマータイム / スタン ダードタイムの切り替え	④ ボタンを 押す
+ 90	時差の変更	③ または ④ ボタンを 押す
P 10:58	「時」「分」の変更	③ または ④ ボタンを 押す
2014 6-30	「年」「月」「日」の変更	③ または ④ ボタンを 押す

- 5 ① ボタンを押して、設定を終了します。

参考

- 日付の設定は、異なる月の長さや、うるう年にも対応しています（フルオートカレンダー）。

ワールドタイム

ワールドタイムモードでは、世界 48 都市（29 タイムゾーン）の時刻を知ることができます。

🔍 都市コード一覧表…P.45

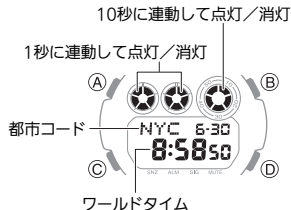
他のタイムゾーンの時刻を見る

- 1 時刻モードで **Ⓒ** ボタンを押し、ワールドタイムモードに切り替えます。

[WLT] を約 1 秒間表示した後、都市コードを表示します。

- 2 **Ⓓ** または **Ⓑ** ボタンを押し、都市コードを選択します。

Ⓓ または **Ⓑ** ボタンを押し続けると早送りできます。



サマータイム (DST) の設定

- 1 ワールドタイムモードで、**Ⓓ** または **Ⓑ** ボタンを押して都市コードを選択します。

- 2 **Ⓐ** ボタンを 1 秒以上押し続けます。

- **Ⓐ** ボタンを 1 秒以上押し続けるごとにサマータイムの設定が切り替わります。
- 表示時刻がサマータイムのときは、DST マークが点灯します。



🗨️ 参考

- サマータイム設定は、選択している都市コードのみ適用します。他の都市コードには影響しません。

ストップウォッチ

ストップウォッチは1/100秒単位で23時間59分59秒99（24時間計）まで計測できます。

- 計測範囲を超えた場合は、0に戻って計測を続けます。



ストップウォッチモードを選ぶ

- 時刻モードで **C** ボタンを2回押すと、ストップウォッチモードに切り替わります。

報音フラッシュ機能がONのときは、[SYNC]を約1秒間表示します。

- 報音フラッシュ機能のON/OFF…P.33

計測する

- ストップウォッチの計測は、以下のボタン操作で行います。

- 経過時間計測

① → ① → ②
スタート ストップ リセット

- スプリットタイム（途中経過時間）計測

① → ② → ② → ① → ②
スタート スプリット スプリット解除 ストップ リセット

- 1・2着同時計測

① → ② → ① → ② → ②
スタート スプリット ストップ スプリット解除 リセット
1着ゴール 2着ゴール (2着のタイム表示)
(1着のタイム表示)

計測中に **B** ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリット計測となります ([SPL] を表示)。

参考

- 計測を開始後は、他のモードに切り替えたり、計測範囲を超えたりしても、**(B)** ボタンでリセットするまで計測を継続します。
- スプリット計測中に他のモードへ切り替えると、スプリットが解除されて経過時間を計測します。

オートスタート機能

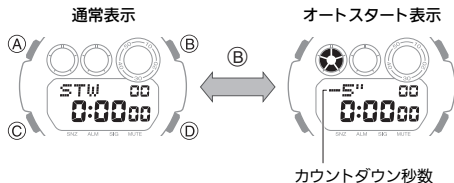
スタート (**(D)** ボタン) を押すと、5 秒間のカウントダウンの後に計測を開始します。

カウントダウンの 3 秒前からは、1 秒ごとに音が鳴ります。

◆ オートスタート機能を使う

- ストップウォッチが 0 のとき、**(B)** ボタンを押してオートスタート表示に切り替えます。

カウントダウン秒数を表示します。



② ① ボタンを押して計測をスタートします。

カウントダウン秒数が、カウントダウンを始めます。

- カウントダウン中に ① ボタンを押すと、カウントダウンを中止して計測を開始します。
- 計測開始後は、通常のストップウォッチのボタン操作と同じです。

参考

- 報音フラッシュ機能を ON にしていると、オートスタート音に連動してライトが点滅します。

 報音フラッシュ機能の ON/OFF…P.33

タイマー

タイマーは1分単位で24時間までセットできます。1秒単位でカウントダウンを行い、タイムアップすると10秒間のタイムアップ音が鳴ります。
また、タイマー方法や予告音の設定ができます。

参考

- 報音フラッシュ機能をONにしていると、タイムアップ音に連動してライトが点滅します。

🔍 報音フラッシュ機能のON/OFF…P.33

設定の詳細

◆タイマー方法

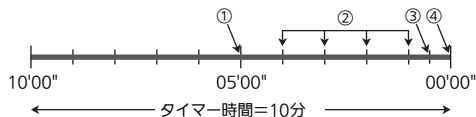
タイマー方法には次の2種類があり、使い方に合わせて選ぶことができます。

- リピートタイマー（繰り返し計測）
タイムアップすると計測が止まります。再度スタートすれば、繰り返し計測できます。
- オートリピートタイマー（自動繰り返し計測）
タイムアップしても計測は止まりません。ストップするまで、自動的に計測を繰り返します。

◆予告音

予告音をONに設定すれば、次のように音が鳴ります。

- ① 5分前：残り5分10秒から5分00秒まで1秒ごとに報音
- ② 4分前から1分前：1分ごとに報音
- ③ 30秒前：1秒報音
- ④ 10秒前からタイムアップ：1秒ごとに報音



タイマーモードを選ぶ

- 時刻モードで **ⓐ** ボタンを3回押すと、タイマーモードに切り替わります。

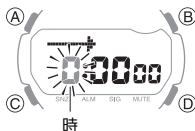
[TMR] を約1秒間表示します。

- 報音フラッシュ機能がONのときは、[SYNC] を約1秒間表示します。

🔍 報音フラッシュ機能のON/OFF…P.33

計測時間を設定する

- ① ① ① ボタンをタイマーの「時」表示が点滅するまで（1秒以上）押し続けます。「時」の設定状態に切り替わります。



- タイマー計測中の場合は、④ ボタンを押して計測を停止してから ② ボタンを押して計測時間をリセットします。
- タイマー計測が一時停止している場合は、② ボタンを押して計測時間をリセットします。

- ② ② または ④ ボタンを押して、「時」を設定します。
② または ④ ボタンを押し続けると早送りできます。
- ③ ③ ボタンを押すと、「分」の設定状態に切り替わります。
- ④ ④ または ④ ボタンを押して、「分」を設定します。
④ または ④ ボタンを押し続けると早送りできます。
- ⑤ ⑤ ボタンを押すと、タイマー方法設定状態に切り替わります。

- ⑥ ① ボタンを押して、タイマー方法を選択します。
 リピータイマー [→]、オートリピータイマー [→] のどちらかを選びます。

🔍 設定の詳細…P.24



- ⑦ ③ ボタンを押すと、予告音の ON/OFF 設定状態に切り替わります。

- ⑧ ④ ボタンを押して、予告音の ON/OFF を選択します。

[ON] と [OFF] のどちらかを選びます。

🔍 設定の詳細…P.24



- ⑨ ⑤ ボタンを押して、設定を終了します。

計測する

- タイマー計測のボタン操作は、以下の通りです。

① → ② → ③ → ④ → ⑤
 スタート ストップ (再スタート) (ストップ) リセット

参考

- 他のモードに切り替えていても、タイムアップ音が鳴ります。

タイムアップ音を止める

- いずれかのボタンを押すとタイムアップ音が止まります。

アラーム・時報

アラームは3つの時刻・日付を設定できます。設定した時刻・日付になるとアラーム音が10秒間鳴ります。スヌーズは、このアラーム音を5分おきに合計7回繰り返します。また、毎正時(00分)に時報を鳴らすこともできます。

参考

- 報音フラッシュ機能をONにしていると、アラーム音に連動してライトが点滅します。

🔍 報音フラッシュ機能のON/OFF…P.33

アラームモードを選ぶ

- 時刻モードで ③ ボタンを4回押すと、アラームモードに切り替わります。

[ALM] を約1秒間表示した後、アラーム番号 ([AL1] ~ [AL2]、[SNZ]) または [SIG] を表示します。

- アラームモードのまま何も操作せず2~3分間経過すると、自動的に時刻モードに戻ります。
- 報音フラッシュ機能がONのときは、[SIG] を約1秒間表示します。

🔍 報音フラッシュ機能のON/OFF…P.33

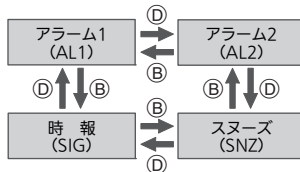


アラーム時刻を設定する

次のように設定することができます。

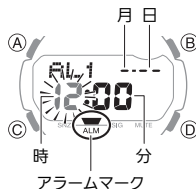
- 毎日鳴る→「時」「分」のみ設定
- 1ヵ月間毎日鳴る→「時」「分」「月」を設定
- 毎月同じ日に鳴る→「時」「分」「日」を設定
- 指定月日に鳴る→「時」「分」「月」「日」を全て設定

- ① アラームモードで ④ または ③ ボタンを押して、設定するアラーム番号を選択します。



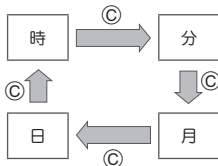
- ② ① ボタンをアラーム時刻の「時」表示が点滅するまで（1秒以上）押し続けます。

アラームマークが点灯し、アラーム設定が ON になります。



- ③ ③ ボタンを押すごとに、時・分・月・日の選択が切り替わります。

選択している箇所が点滅表示します。



- ④ ④ または ④ ボタンを押して、時・分・月・日を設定します。

- ④ または ④ ボタンを押し続けると早送りできます。
- 12時間制で表示している場合、午後はP(午後)マークを表示します。
- 「月」「日」を設定しないときは、[-] または [- -] のまま変更の必要はありません。

- ⑤ ① ボタンを押して、設定を終了します。

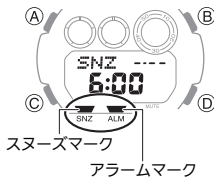
アラーム・時報の ON/OFF

- ① アラームモードで ④ または ③ ボタンを押し、設定するアラーム番号または時報を選択します。
- ② ① ボタンを押し、アラームまたは時報の ON/OFF を切り替えます。

アラームまたは時報を ON にすると、アラームマーク（スヌーズの場合はスヌーズマークも）、または時報マークが点灯します。

アラーム ON

<スヌーズ表示>



時報 ON

<時報表示>



アラーム音を止める

- いずれかのボタンを押すとアラーム音が止まります。

参考

- スヌーズの場合、7回の繰り返しが終わるまで約5分ごとにアラーム音が鳴ります。
- スヌーズ中は、スヌーズマークが点滅しています。
- スヌーズ中に以下の操作をすると、スヌーズ機能が停止します。
 - スヌーズを OFF に切り替えた
 - スヌーズをセット状態にした
 - 時刻モードのセット状態にした

アラーム音を確認する（モニターアラーム）

- アラームモードで ④ ボタンを押し続けると、押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

ライト

暗いところで時計の表示を見るときに、LEDライトを点灯させて画面を明るくすることができます。また、暗いところで時計の傾きによってライトを点灯させるオートライト機能を設定できます。

ボタンを押して点灯させる

- (L) ボタンを押すと、ライトが点灯します。

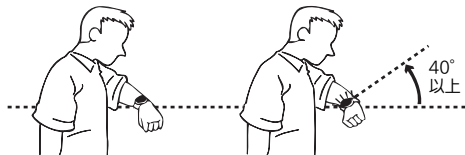


参考

- ライト点灯中にアラーム音が鳴ると、消灯します。

自動的に点灯させる (オートライト)

オートライト機能がONのとき、時計を40°以上傾けるとライトが点灯します。



参考

- アラーム音が鳴っているときは、オートライト機能は作動しません。

◆オートライトの ON/OFF 設定

- 時刻モードで、**Ⓑ** ボタンを3秒以上押し続けて、オートライト機能の ON/OFF を切り替えます。

オートライト ON のときは [LT] を表示します。



◆オートライトに関する注意事項

- 以下の図のように、時計が水平状態から15度以上傾いていると、点灯しにくくなります。



- オートライトを ON にすると、ライトが頻繁に点灯して電池寿命が短くなります。
- 静電気や磁気の影響でオートライトが作動しないことがあります。その場合、もう一度時計を水平状態にしてから傾けてください。
- 時計を傾けたとき、内部から「カラカラ」と音がする場合があります。これは、オートライトスイッチの作動音で、故障ではありません。
- オートライトが作動するのは、オートライト ON にしてから約6時間です。それ以降は自動的にオートライト OFF になります。

点灯時間を切り替える

- ① 時刻モードで、**(A)** ボタンを1秒以上押し続けます。

秒が点滅します。

- ② **(B)** ボタンを押して、**[*]** (1.5秒間点灯) または **[**]** (3秒間点灯) を選択します。



- ③ **(A)** ボタンを押して設定を終了します。

各種の設定

ボタン操作音の ON/OFF

ボタンを押したときに鳴る操作音の ON/OFF 設定ができます。

- ③ ボタンを3秒以上押し続けて、操作音の ON または OFF を切り替えます。

操作音が OFF のときは、ミュートマークを表示します。



参考

- 操作音の設定が OFF の場合でも、アラーム音、時報、タイムアップ音は鳴ります。
- 時刻などを設定しているとき（表示が点滅中）は、この操作は行えません。
- ③ ボタンを押したときに、モードも切り替わります。

報音フラッシュ機能の ON/OFF

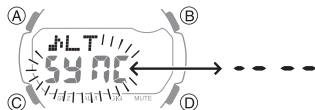
報音フラッシュ機能を ON にしていると、アラーム・時報、ストップウォッチのオートスタート音、タイマーのタイムアップ音に連動して、ライトが点滅します。

- ① 時刻モードのとき、① ボタンを1秒以上押し続けてセット状態に切り替えます。

秒が点滅します。

- ② ③ ボタンを8回押して、報音フラッシュの設定状態に切り替えます。

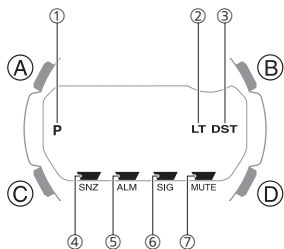
- ③ ④ ボタンを押して、報音フラッシュの設定を選択します。



- 報音フラッシュが ON のときは [59:00] を表示します。

- ④ ① ボタンを押して、設定を終了します。

主なマークとインジケータ



番号	名称	参照ページ
①	P (午後) マーク	P.15
②	オートライト ON マーク	P.31
③	DST マーク	P.20
④	スヌーズマーク	P.29
⑤	アラームマーク	P.28
⑥	時報マーク	P.29
⑦	ミュートマーク	P.33

製品仕様

精 度 : 平均月差±15秒

基 本 機 能 : 時・分・秒、月・日・曜日、
午前／午後(P)／24時間制表示、
フルオートカレンダー(2000～
2099年)

ワールドタイム : 世界48都市(29タイムゾーン)の時
機能 刻を表示、サマータイム設定機能

ストップウォッチ : 計測単位= 1/100 秒
機能 計測範囲= 23 時間 59 分 59 秒 99
(24 時間計)
計測機能=通常計測、積算計測、
スプリット計測、
1・2 着同時計測、
オートスタート機能

タイマー機能 : セット単位= 1 分
計測範囲= 24 時間
計測単位= 1 秒
リピートタイマー／オートリピート
タイマー切り替え、
予告音 ON/OFF 切り替え

アラーム機能 : マルチファンクションアラーム
アラーム数=3本(うち、スヌーズ1本)
セット単位=時・分・月・日
時報 毎正時に電子音で報知

そ の 他 : 自動復帰機能、12/24時間制表示切
り替え、LEDライト、オートライト、
ライト点灯時間切り替え、モニター
アラーム、報音フラッシュ機能、操作
音ON/OFF切り替え

使 用 電 池 : CR2032 1個(電池別途販売)

電 池 寿 命 : 約10年

(ライト 1.5 秒間/日 *、電子音
10 秒/日、予告付きタイマー
計測 1 回/週 *、オートスター
トストップウォッチ計測 1 回/
週 * 使用した場合
* 報音フラッシュ機能 ON の
とき

ご使用上の注意

■防水性

- 防水時計は時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

表示	時計の表面または裏ぶたに表記	日常生活用防水	日常生活用強化防水		
		「BAR」表記無し	5気圧防水 5BAR	10気圧防水 10BAR	20気圧防水 20BAR
使用例	洗顔、雨	○	○	○	○
	水仕事、水泳	×	○	○	○
	ウインドサーフィン	×	×	○	○
	スキングダイビング(素潜り)	×	×	○	○

- 専門的な潜水=スキューバダイビング(空気ボンベ使用)でのご使用はお避けください。
- 時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されていないものは防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
- 防水構造の機種でも、以下のご使用はお避けください。
防水性能の低下や、ガラスの内側が曇る原因になります。
 - 「水中で」および「時計に水分がついた状態で」りゅうずやボタンを操作すること
 - 入浴のときに使用すること
 - 温水プールやサウナなどの高温多湿な環境で使用すること

- 時計を手につけたまま手洗い/洗顔/家事などをするとき、石鹸や洗剤を使うこと
- 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れを拭き取ってください。
- 防水性を保つために定期的(2~3年を目安)なパッキン交換をおすすめします。
- 電池交換の際、防水検査を行いますので、必ずお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください(特殊な工具を必要とします)。
- 防水時計の一部にデザイン上、皮革バンドを使用しているモデルがありますが、皮革バンド付の状態、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。
- 時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。夏季に高温の室外から室内に入りエアコンの吹き出し口付近で冷気にさらされたり、冬季に暖かい室内から出て屋外の冷気や雪に触れた場合など、外気と時計内部の温度差が大きくなることによって曇る時間が長くなることがあります。
なお、曇りが消えなかったり、時計内部に水が残っている場合は、ただちにご使用をやめて、修理をお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください。

■バンド

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
- バンドは、劣化やさびなどにより、切れたり外れたりすること、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。これらは、時計の落下や紛失、けがの原因となります。バンドは常にお手入れをして清潔な状態でご使用ください。
- バンドに弾力がなくなる、ひび割れ、変色、緩み、接合部のピンの飛び出しや抜け落ちなどの異常がある場合は、ご使用をやめてください。点検・修理（有償）や新しいバンドとの交換を、お買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください。

■温度

- 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。
- +60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。液晶表示は、0℃以下や+40℃以上では、表示が見えにくくなる場合があります。

■ショック

- 通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。ただし、耐衝撃構造の時計の場合（G-SHOCK/Baby-G/G-ms）は腕につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ（モトクロスなど）でのショックを受けても時計には影響ありません。

■磁気

- 通常、磁気の影響はありませんが、極度に強い磁気（医療機器など）は誤動作や電子部品を破損する恐れがありますので避けください。

■静電気

- 静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。
- 静電気により、一時的に液晶の点灯していない部分ににじみ現象が発生することがあります。

■薬品類

- シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれら含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

ご使用上の注意

■保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などを拭き取り、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■樹脂部品について

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂部品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取り、他の製品に密着させたまにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。
- 塗装部品は、使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗し色落ちしたりすることがあります。
- バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
- 蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくと色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取って、乾かしてください。
- スケルトン（透明）仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。
- ご使用状態や保管環境により異なりますが、日々のご使用や長期保管によって劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

■皮革バンドについて

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が皮革バンドに移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに柔らかい布などで軽く拭いて、他の製品に密着させたまにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。
ご注意：皮革バンドは、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

■金属部品について

- 金属は、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さびが発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などでよく拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、よく乾燥させてください。
- とくとき、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。

■抗菌防臭バンドについて

- 抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性の良い柔らかい布で拭き取り、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

■液晶表示について

- 液晶表示は、見る方向によって表示が見えにくくなる場合があります。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

■お手入れのしかた

時計も衣類同様、直接身につけるものです。長くお使いいただくために、汚れ・汗・水分などは柔らかい布などでこまめに拭き取り、常に清潔な状態でご使用ください。

- 海水や泥がついた場合は、真水でよく洗い流してください。
- 金属バンドおよび樹脂バンドの金属部品は、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。
- 樹脂バンドは、水で洗い、柔らかい布などで水分を拭き取ってください。また、樹脂バンドの表面にシミのような模様が発生することがありますが、人体および衣類への影響はありません。布などで拭き取ってください。
- 皮革バンドは、水や汗がついた場合には、柔らかい布などで軽く拭いてください。
- りゅうずやボタンや回転ベゼルは、長期間操作しないと動きが悪くなる場合があります。ときどき、りゅうずや回転ベゼルの回したり、ボタンを押ししたりしてください。

■お手入れを怠ると

〈さび〉

- 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
 - 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
- さびが発生すると、金属部分に鋭利な箇所ができたり、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。異常に気がついた場合は、ご使用をやめて、修理（有償）をお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

〈劣化〉

- 樹脂バンドや樹脂ベゼルは、汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

〈かぶれ〉

- 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮革バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

- 電池交換は必ずお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください。
- 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
- 電池交換の際、防水検査を行います。
- 樹脂（外装）部品は日々のご使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。電池交換ご依頼品の樹脂部分にひびなどの異常がある場合、破損の恐れがありますので作業を行わずにご返却する旨のご案内をさせていただくことがございます。あらかじめご了承ください。

■最初の電池

- お買い上げの時計に組み込まれている電池（モニター用電池）は、工場出荷時点で時計の機能や性能をチェックするために組み込まれたものです。
- お客様がお買い上げになるまでの期間に電池は消耗しますので、モニター用電池は取扱説明書などに記載されている電池寿命に満たない場合があります。また、電池交換は保証期間内でも有料となります。

■電池の消耗

- 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
- 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

金属バンドの駒詰めについて

金属バンド（フリータイプの中留構造バンド※を除く）の駒詰めには専用の工具が必要となります。

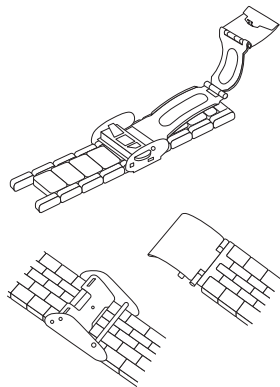
お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはけが等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。

なお、「持込修理サービス受付窓口」においても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。

詳しくは、「持込修理サービス受付窓口」または「修理に関するお問い合わせ窓口」へお問い合わせください。

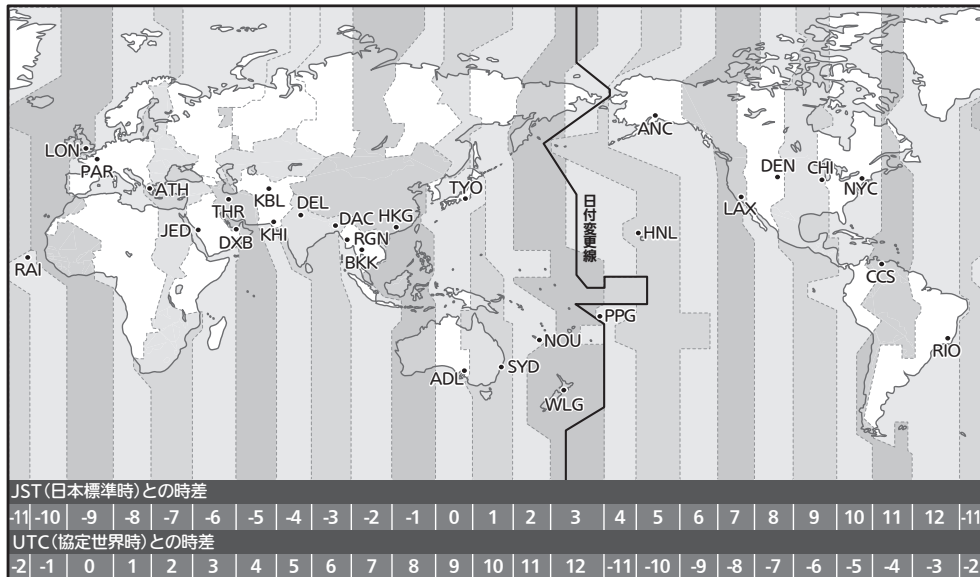
※中留をスライドさせて長さ調整するフリータイプのバンドでは、駒の取り外しはできません。

（例）



UTC（協定世界時）とタイムゾーン

地図から目的地のタイムゾーンをご確認ください。



都市コード一覧表

コード		時差	都市名
LONDON	LON	0	ロンドン
DAKAR	DKR	0	ダカール
MADRID	MAD	+ 1.0	マドリッド
PARIS	PAR	+ 1.0	パリ
MONTE CARLO	MCM	+ 1.0	モンテカルロ
ROME	ROM	+ 1.0	ローマ
BERLIN	BER	+ 1.0	ベルリン
STOCKHOLM	STO	+ 1.0	ストックホルム
ATHENS	ATH	+ 2.0	アテネ
JOHANNESBURG	JNB	+ 2.0	ヨハネスブルグ
ANKARA	ANK	+ 2.0	アンカラ
NICOSIA	NIC	+ 2.0	ニコシア
HELSINKI	HEL	+ 2.0	ヘルシンキ
CAIRO	CAI	+ 2.0	カイロ
JERUSALEM	JRS	+ 2.0	エルサレム
MOSCOW	MOW*	+ 3.0	モスクワ
JEDDAH	JED	+ 3.0	ジェッダ
TEHRAN	THR	+ 3.5	テヘラン
DUBAI	DXB	+ 4.0	ドバイ
KABUL	KBL	+ 4.5	カブール
KARACHI	KHI	+ 5.0	カラチ
DELHI	DEL	+ 5.5	デリー

コード		時差	都市名
DHAKA	DAC	+ 6.0	ダッカ
YANGON	RGN	+ 6.5	ヤンゴン
BANGKOK	BKK	+ 7.0	バンコク
SINGAPORE	SIN	+ 8.0	シンガポール
HONG KONG	HKG	+ 8.0	香港
BEIJING	BJS	+ 8.0	北京
PERTH	PER	+ 8.0	パース
SEOUL	SEL	+ 9.0	ソウル
TOKYO	TYO	+ 9.0	東京
ADELAIDE	ADL	+ 9.5	アデレード
SYDNEY	SYD	+ 10.0	シドニー
NOUMEA	NOU	+ 11.0	ヌーメア
WELLINGTON	WLG	+ 12.0	ウェリントン
PAGO PAGO	PPG	-11.0	パゴパゴ
HONOLULU	HNL	-10.0	ホノルル
ANCHORAGE	ANC	-9.0	アンカレッジ
LOS ANGELES	LAX	-8.0	ロサンゼルス
DENVER	DEN	-7.0	デンバー
MEXICO CITY	MEX	-6.0	メキシコシティ
CHICAGO	CHI	-6.0	シカゴ
NEW YORK	NYC	-5.0	ニューヨーク
CARACAS	CCS**	-4.0	カラカス

都市コード一覧表

コード		時差	都市名
ST. JOHNS	YYT	-3.5	セントジョンズ
RIO DE JANEIRO	RIO	-3.0	リオデジャネイロ
BUENOS AIRES	BUE	-3.0	ブエノスアイレス
PRAIA	RAI	-1.0	プライア

* 2012年12月現在、モスクワの時差は「+4」に変更されていますが本機では対応していません。サマータイム設定をONにして、1時間進めてご使用ください。

** 2012年12月現在、カラカスの時差は「-4.5」に変更されていますが本機では対応していません。「時差-4の地域」としてご使用ください。

参考

- この表は、本機の都市名一覧表です。
- 設定する都市コードがわからないときは、使用場所の時差を確認し、時差が一致する都市コードを選択してください。
- 時差は協定世界時（UTC）を基準にしています。